

No. 32

# 区議会だより

足立区議会事務局

☎(882) 1111



(4月1日開館なった花畑区民センター)

## 昭和49年度一般会計予算など可決

### 第1回定例会

昭和49年度足立区一般会計予算、消費者センター条例などを審議する第1回定例会は3月8日に開会され、区長の提案説明ののち、会期を30日間と定め、各党の代表質問をかわりに区長から提案された44議案、議員提案4件、区民から提出された請願、陳情78件などの審議と、4特別委員会の設置をきめ、4月5日に閉会しました。

#### 第1日(3月8日)

区長の提案説明ののち、会期を30日間と定め、つづいて国民健康保険条例の一部を改正する条例ほか7議案を所管の常任委員会に付託しました。

#### 第2日(3月11日)

監査委員から昭和48年度区立保育所および区立上総養護学園の事務監査の結果について報告が行なわれたのち、各党の代表質問を5議員が行ないました。

つづいて第1日目に付託された8議案を原案のとおり可決しました。

#### 第3日(3月12日)

前日に引き続き4名の議員から質問が行なわれたのち、区立保木間小学校改築工事請負契約ほか25議案、報告2件などを所管の委員会に付託しました。

昭和49年度足立区一般会計予算ほか2件の特別会計予算は26名の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託することにしました。

#### 第4日(3月29日)

さきに休会中所管の委員会で審議されていた昭和49年度足立区一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、足立区用地特別会計予算ほか23議案を原案通り可決、報告2件を承認しました。



次に山中湖林間学園(仮称)新築工事請負契約ほか4議案が追加提案され、所管の常任委員会に付託しました。

つづいて総務委員会委員が提案者となつた委員会条例の一部を改正する条例ほか1議案が提案され原案通り可決されました。

最後に4特別委員会(名簿は8ページに掲載してあります。)の設置を決め散会しました。

第5日(4月5日)

各常任委員会で審査されていた8議案は原案通り可決しました。つづいて非核三原則の立法化要請に関する意見書および中高層建物の建設に係わる日照等基準設定に関する意見書が提案されそれぞれ全会一致で原案通り可決されました。各委員会で審査された請願、陳情は委員会審査報告書のとおり決定し、(結果は8ページのとおりです。)第一回定例会を閉会しました。

可決したおもな議案

昭和48年度足立区一般会計補正予算(第7号)

開発公社業務委託、公共施設建設資金などについて22億6,222万9千円を補正計上するものです。これで一般会計の予算総額は325億8,135万8千円になります。

昭和48年度足立区一般会計補正予算(第8号)

物価騰貴による生活保護費引上げがおもなもので、当初予算からの総額は326億997万1千円になります。

昭和48年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

4億8,786千円を追加して、総額を50億7,117万4千円とするものです。

昭和48年度足立区用地特別会計補正予算(第2号)

340万7千円を減額して、総額を4億9,759万3千円とするものです。

足立区組織条例の一部を改正する条例  
住民福祉の充実を図るため、福祉部を新たに設けるものです。

足立区議会の議決に付すべき契約および財産の取得または処分に関する条例の一部を改正する条例  
資材の高騰などにより議会の議決に付すべき工事または製造の請負契約の下限金額を6千万円に引き上げるものです。

足立区消費者センター条例  
この条例は消費者者センタ

1(千住仲町3番地)を開

設するこ

とにより、

消費者の

利益の擁

護、増進と区民の消費生活の安定向上を図ろうとするもので、主な事業は次のと



おりです。

1 施設の利用に関すること。

2 消費者に対する啓発活動の推進および消費者教育に関すること。

3 消費生活に係る相談および苦情の処理に関すること。

4 消費生活に係る資料の収集および展示に関すること。

5 生活物資の簡易な試験に関すること。

6 消費者団体の育成に関すること。

などで、施設の利用は一般に無料で開放されます。

町区域の新設及び一部変更について

昭和49年7月1日から変更する予定です。

新設町名

新設町名

昭和49年11月1日から変更する予定です。

新設町名

新設町名

新設町名

新設町名

契 約 議 案 (8件)			
区立栗島小改築工事請負契約	延長	86.43m	
区立舎人小改築工事請負契約	延長	72.20m	
区立舎人小分校(仮称)新築工事請負契約	延長	474.76m	
区立保木間小改築工事請負契約	延長		
区立蒲原中改築工事請負契約	延長		
区立第七中改築工事請負契約	延長		
区立第十三中増改築工事請負契約	延長		
区立山中湖林間学園(仮称)新築工事請負契約	延長		
特別区道路線の認定 (3件)			
舎人五丁目3-12先	延長	86.43m	
竹の塚六丁目14-4先	延長	72.20m	
保木間町 458-15先	延長	474.76m	
特別区道路線の設置 (2件)			
小台一丁目7先	延長	58.00m	
江北一丁目4先	延長	83.95m	

1-101)、花畑桑袋保育園(花畑町5,751)を開園するものです。

足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例

高額療養費を支給するために条例を改正するもので、このおもな内容は国民健康保険に加入している被保険者が1か月に同一の病院、診療所などで自己負担金の支払いが3万円超過した場合、こえた額について区が世帯主に対しあとから支払い、被保険者の負担を軽くするものです。

足立区立公園条例の一部を改正する条例

袋在家公園(西新井二丁目23-1)、みだまえ公園(谷在家一丁目17-1)、いかづち公園(西新井二丁目27-1)、千住中居町公園(千住中居町24-7)、花畑前通り公園(花畑町2,637)、雪見公園(花畑町112)、鹿浜校趾公園(鹿浜三丁





## 区長公選等 実現決起大会開かれる

昨年末で6回にわたって特別区の自治権拡充大会が開かれてきました。今年が、今年もは「もうこれ以上私達は待てない」という強い

決意で

- 区長公選制の即時実現
- 特別区への事務事業の移管
- 特別区の財政権の確立
- 特別区の人事権の確立

の4項目の柱を要求する区長公選実現決起大会が去る2月19日渋谷公会堂で開かれました。

会場は230人を超える住民代表や区議員議員が参加し、また各党代表の国会議員・都知事・各区長も出席して熱気あふれる大会となりました。

大会終了後、約50台のバスに分乗した住民代表が国会に請願行動を展開し、出迎えた各党代表に決議文等を手渡ししました。

### 議員提出議案

議案	全派名										結果	
	自民党	公明党	社会党	白民党	共産党	白民党	同友会	民社党	可原	可原		
注○賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可原 決案
照中高層建築物の建設に係わる日照等基礎設定に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可原 決案

目14-1)以上7公園を開設するものです。

足立区立児童遊園条例の一部を改正する条例

青井一丁目児童遊園(青井一丁目7-5)を開設するものです。

足立区育英資金貸付条例の一部を改正する条例

貸付金額を、大学は年額7万2千円以内、高等学校および高等専門学校は年額4万8千円以内に引き上げるものです。

足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例

被保険者が出産したときは助産費として2万円、死亡したときは葬祭費として1万円を支給するものです。

## 代表質問

### 自民党 足立区議団

4号国道の拡幅工事公害を問う

△4号国道の拡幅工事は沿道住民に対し種々の公害を与えている。この上連続立体交差化工事が着工されるならばその付近住民の迷惑は計りしれないものがある。沿道住民の公害に対し解決策を示せ。

▼交通関係の諸問題は公安委員会に相談したい。また高架工事による公害は工場公害防止条例の範囲を越えないように都で指導して頂き、付近住民に被害が及ばないように努力したい。



△堤北地区の下水道枝線工事による堀さく地下水の吸み上げは、軟弱地盤の特殊性にもより、建造物に対し損傷、破損など大きな被害を与えている。この被害に對し当区の実状に即した補償をせよ。

▼細心の注意を払って仕事をこなしているが、被害が出れば、下水道局と和解折衝を行ない、迷惑をかけないよう配慮したい。また補償期間は1年であるが、延長については下水道協議会に相談したい。

新設、増築の学校は予定通り完成せよ

△セメントなどの資材不足により学校建

築が遅延しているが、区は業者の指導、監督ばかりでなく資材のあつ旋などの措置を考えよ。また学校の竣工状況を説明せよ。

▼資材不足は積極的にとり上げてきた。学校の竣工状況について、48年度の小学校の新設、増築は47年度の繰越明許事業4校を含めて33校ある。そのうち完成した学校8校、年度内竣工予定が11校4月以降に竣工されるものが14校ある。

#### 校庭は自然土に

△当区の学校校庭はアスファルトにするのが通例になっているが、この校庭で児童生徒が足もとから強い衝撃を受けると脛骨上部の異常発達、ひざ下の骨のひび割れという奇病が発生し、問題となっている。校庭は自然土に改修せよ。

▼自然の状態に学校環境を近づけるといふ方向で努力したい。



#### 千代田線の震動対策を問う

△地下鉄千代田線の震動対策について地元から区に要望した次の点の回答は、(1)調査データーを47年8月にさかのぼって渡してほしい、(2)2回程度被害の実態を都知事、環境庁長官、運輸大臣、区選出国會議員に報告せよ。

▼(1)昨年12月地元へ報告した。今後も調査終了後被害者の会に報告したい。(2)被害者の会から要請された。



公明党

給食費の値上げを圧縮せよ

△学校給食費は最近の諸物価の高騰で質量とも落ちており、これを改善するため校長会は4月1日から値上げの意思を決定しているが、教育委員会として値上げを押さえるためにいかなる対策を考えているか。また給食事務改善のため学校給食会を発足させる意思は。

▼教育委員会として、各学校間における価格の情報交換の積極化、共同購入の実施、各市場との積極的な連絡について検討したい。学校給食会は十分調査検討したい。

中島根小学校建築の遅延問題を問う

△昨年来のセメント不足により、中島根小学校の4月開校が遅れることに對し、地元住民は区、業者の信頼をうしなっているが、区はこれについてどのように対処するか。また中島根小学校の遅延は業者の建設努力が欠けていないか。



▼4月1日に梅島第一小学校で開校し、5月初旬には新設校舎へ移る予定である。地元との信頼関係の喪失については実情を説明し、二度とこのようなことが起こらないようにしたい。学校建築の遅延は業者の誠意の問題であるので、このよ

うな業者に対しては十分考慮したい。

中小企業融資の増額を

△資材の高騰、コストの大幅アップなど諸物価の高騰から中小企業の資金難を緩和するため、運転資金を200万円で3年に設備資金は500万円5年にそれぞれ増額および貸付期間の延長を行なう考えは。

▼運転資金は現在100万円1年であるが貸付趣旨からいつて期間が長いことはこの趣旨にあわないので今後検討したい。設備資金は財源の問題があるので検討したい。

伊興町地域の水害対策は

△都市化現象の進展にともなう下水道施設の遅れは、伊興町前沼および大境地域など新たな水害地域を出している。下水道が完備するまでの水害対策は。

▼苗間堀の改修、東武鉄道踏切わきのポンプの増強、竹の塚堀の浚渫などを行ない、今年は水を出さないよう努力したい。

青少年の海外派遣は無料

△青少年が国際的視野を広め、国際協力の精神をかん養し、日本の姿を正しく理解するために政府および民間の各種機関が実施する海外派遣は区民の個人負担分を補助せよ。

▼原則的には賛成であるが、財源等もあるので前向きに検討したい。



社会党

区の長期計画を変更する意思はないか

△最近の物価高騰や資材不足、加えて政府の総需要抑制政策は足立区政に対しても著しい影響を与えており、公共施設の建設においては長期計画と実際の建設施行率とにかなりの相違が生じている。この際、区長は、長期計画を変更する意思はないか見解を示せ。

▼計画どおりなかなかない面があるが、長期計画は原則的には変更しない方針でいる。

非行に走る少年、少女の対策を問う

▽生徒、児童のスパーマーケットでの万引、自転車等の窃盗、シンナー、接着剤等の乱用が多数発生し、補導されている。加えてこれらの犯罪が一向に減少の傾向を示していないが、区の抜本的な対策を示せ。

▼特に14才未満の非行少年の増加には区としても大変憂慮している。対策としては生活補導連絡会、児童生徒健全生活指導委員会、家庭教育の啓発、補導専門部会等の活動を充実し、区、学校、警察、民間業者との連携をより密接にし、非行少年の減少をはかりたい。



△物価急騰等による生活苦は、共働き家庭を必然的に増加させている。49年度の保育園入園希望者数は、公私立の入園可能者数よりいずれも上回っており、今後もこのすう勢は続くと考えられる。入園希望者を充足させるためにも保育園建設を急ぐ必要があると思うが見解を示せ。

▼用地取得に最大限努力しているが入手がむずかしく要望にそえないでいる。49年度に中島根、平野、桑袋、梅田、保木間、50年度に本木東、水神橋保育園を新設ないし増設し、区民の要望に応えたい

抜本的な内水氾濫対策を示せ  
△毎年雨季には、東和地区を始めとして各地区で出水を引き起している。衛生上は勿論のこと家屋の腐食等住民の被害ははかりしれないものがある。区は抜本的な対策をたて工事を急ぐ必要があると考えるが見解を示せ。

保育園の増設を急げ

▼抜本的な解決策は下水道の完成がまたれるが、その間、河川の改修、水路の床下げ、配水管の埋設、仮設ポンプの設置等をはかり出水をなくしたい。

身障者のために公

共施設を改善せよ  
△教育センター等快く利用出来るよう改善する意思はないか。  
▼すでに本庁舎の玄関はスロープ化しているが、他にも十分配慮したい。





自民党

清新会

地域公民館を町会単位に建設せよ

△区民センターの建設は、発展する当区にとって早急に実現されることが望まれるが、これとは別に、住民相互の親睦、子供会活動、婦人の集い、老人の憩いの場等のための小集会所(100平方米程度)を町会単位に建設し、もって自治の高揚をはかる意思はないか。



▼300以上の町会、自治会単位に、公民館を建設することは困難と考えるが、住宅密集地域に老人、婦人等の集会のための小集会所を建設したい。

学校給食費の公費負担をはかれ

△本来、義務教育に係わる経費は、無償であるにもかかわらず、給食費のみ父母負担を強いているのは矛盾といわざるを得ない。ついては、都の予備費を充当して全額公費負担に切替えるよう働きかけよ。

▼給食費の全額公費負担は、願ってやまないが、区独自の助成については、区の財政状態から困難と考える。なお、公費助成については、今後も強力に働きかけ父母負担の軽減をはかりたい。

赤字バス路線への助成をはかれ

△区内バス路線の整備は、通勤、通学者等の足を確保するうえからも欠くことができない。しかし、バス会社は、利用客の減少を理由に路線を廃止しているが、住民の足を確保するうえからも赤字路線への助成について都へ働きかける意思はないか。

▼区民の足は、バスに依存しているのが現状なので、路線確保については、十分関係方面と連絡をとり利便をはかりたい

都住改築の際保育園用地を提供せよ  
△49年度末で要保育児の充足率は71%になるにすぎない。住宅建設のすう勢からみて保育園増設は避られない。都住改築の際は用地の一部を提供させるよう都に働きかけよ。

▼住宅局との間で500戸団地に一保育園の協定ができています。残用地の提供については検討したい。

都市ガス敷設に際し整備助成せよ

△都市ガスの敷設は、一般家庭にとつて欠くことができない。堤北地区には多くの未敷設地域があり、私費で敷設した場合、道路復旧費の住民負担が大きいの。負担軽減からも整備助成する意思はないか。

▼都市ガス敷設に伴う道路復旧費は、原因者負担が原則になっている。今後、十分検討したい。



共産党

学校給食に伴う父母負担を軽減せよ

△昨今の物価暴騰は、学校給食にも押しよせ父母の負担を大きくしている。学校給食をより充実させるためにも都、区の助成金を大幅に増額し併せて学校給食法を改正し国の責任で完全給食が出来るよう政府、都に働きかけよ。

▼給食費の全額公費負担は、なかなかむずかしいが父母負担の軽減をはかるべく都に働きかけたい。

区は高校新設に積極的に対処せよ

△中学卒業生の96%が公私立の高校へ進学し、しかも51年度入学からは都内で約3万人の中学浪人がでるといわれ、当区には向う10年間に20校を新設する必要性にせまられている。区民の期待にこたえるためにも都と一体になって用地取得に努力する意思があるか。また東京セロハンKK跡地についても見解を問う。

適地があれば都に協力し誘致をはかりたい。

跡地については見解を問う。



堤北地区の内水氾濫対策を問う

△田畑の宅地化、水路の暗渠化等により流水能力が低下し、少しの雨にも氾濫をくり返している。特に伊興町前沼地区は

30mmの降雨にも出水するが対策を示せ。  
▼具体策としては、ポンプの増強、中継ポンプの設置、見沼代用水の水を毛長堀に落すことにより解決をはかりたい。

乳幼児の医療費を無料化せよ

△乳幼児の医療費無料化を望む都民の声が高まっている。将来を担う子供の健康と福祉の向上からも何らかの具体的処置を講ずる必要があると考えるが、区長の考え方と区独自の施策および医師会への協力要請をする考えはないか。

▼低所得者に対する医療費無料化には賛成であるが実施については都と医師会との協議が整っていないのでいかんともしたい。また独自の施策については検討したい。

公正、民主的な同和行政をどう進めるのか  
△解放同盟の窓口を通らなければ同対事業を受けられないという「窓口一本化」を排し、同対事業の施策は行政の自主的な判断と責任において決定し公正民主的に行なう必要がある。また現行同対法を改正するよう働きかける意思があるか。



▼同対法の趣旨に沿って都の事業を積極的に受け入れ、差別を排除し住民としての福祉を享受出来るよう、また都に準じて関係8区とも連携を密にし行政の運営に当たりたい。



民社党

町会、自治会への助成金を増額せよ

△各町会、自治会は、交通、防犯等自己の生活を犠牲にし区に協力推進をしてきたところである。これらの運営に要する費用は、町会費によってまかなわれているが物騰の折から財政負担は大きい。自治の高揚の見地からも助成金を増額する意思はないか。

▼助成金について、現在検討分類をしているところであるが、各町会、自治会への依頼事務が増加しているので十分検討したい。

非核三原則の立法化要請に関する意見書 要旨

今日、原爆被害者は放射能障害による精神的、肉体的苦しみを負って生きつづけている。このような現況の中で世界唯一の被爆国である日本国政府が世界の人類に向けて核兵器を造らず、持たず、持ち込まずという「非核三原則」を立法化することは非常に重要であり緊急であると考えられる。しかるに、わが国に原爆が投下され人々を殺りくしてから28年余経た今日、いまなお国外において核実験がつけられていることは誠に遺憾である。ついでには、政府は一日も早く核兵器の惨禍をくり返さぬ決意をこめて「非核三原則」を立法化するよう強く要請する。

中高層建物の建設に係わる日照等基準設定に関する意見書

わが国の住生活における日照は、気候風土、生活様式等の点からみて、大気、水等とともに自然の資源として人間の生活にとって欠くことが出来ない。都は、良好な住環境を確保すべき施策として、東京都建築安全条例等により規制をし、その配慮がなされている。しかし、現況は、高密度化した住宅地区に中高層建築物が建設され日照等の紛争を生じさせている。よって本区議会は、住民の健康等を維持するために日照等の基準を早急に設定するよう強く要請する。

公共料金凍結に関する要望書

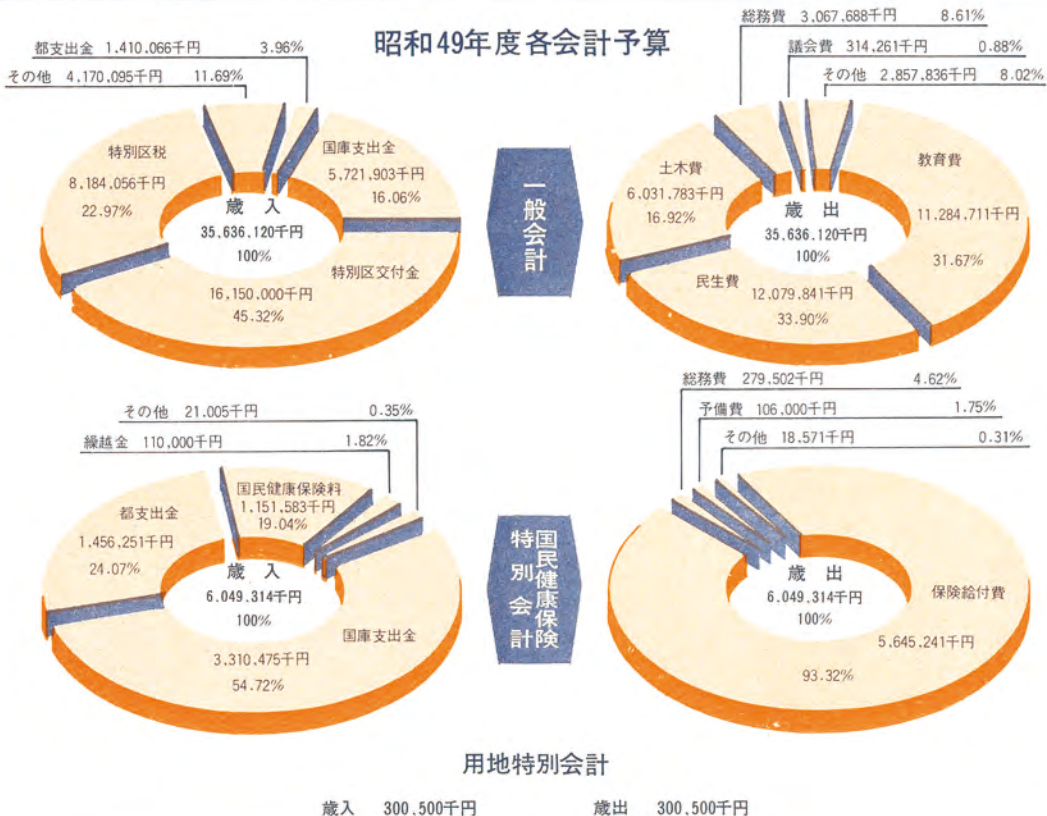
石油危機に便乗した大企業の買い占め、売り惜しみは物資の不足等を引き起し国民生活を極度に圧迫しています。この事態に対し政府は、石油需給適正化法等により対策を講じているが、高騰した物価は高値で安定化してきているのが現状であります。よって政府は、この経済混乱を十分認識し、国民の日常生活を救済するために米価、国鉄運賃などすべての公共料金を2年間凍結するよう強く要望する。

バス路線増発並びに延長に関する要望書

本区は左記事項を東武鉄道に要望した

- ①大鷲神社―五反野駅、北千住駅間のバス運行を増発すること。
- ②竹の塚駅―花畑団地間のバス運行を竹の塚駅―大鷲神社間に路線延長すること

昭和49年度各会計予算





# 自民党

賛成

当予算は、①たばこ消費税の見込みが少額すぎる②同対策事業に不明朗な点がある③浸水対策が総花的で集中対策に欠ける④23区の格差をなくすための財政調整制度の改革に対する姿勢が弱いなど問題点はあるものの次の要望を付し賛成する。

- ①町会、自治会への助成を増額させたい
- ②障害児保育を早期に始められたい。
- ③特別保育を全保育園で行なわれたい。
- ④下水道の早期完成をはかることと、用水改修には重点地区を設け抜本対策をされたい。
- ⑤特殊学級の増設をはかられたい
- ⑥土地開発のための基金を設けられたい
- ⑦当区内を一学区とする都立高校の区域設定は、進学希望者数に見合った高校新設がなされるまで、現在の学区区域を変更することのないよう取り計られたい。



# 公明党

賛成

わが党が多年主張してきた総合体育館の建設、健全の家、緑化対策、消費者センター等の実現、充実に努力していることを高く評価する。

①総合体育館建設に当り議会等の意見を

十分取り入れ、100万都市になっても誇れる規模、設備の施設を建設されたい。

- ②学校給食費の国、都の補助金増額について積極的に働きかけられたい。
- ③中小商店は高値不況とスーパー等により経営が圧迫されているので商店振興のための対策を十分講じられたい。
- ④中小企業に対し利子補助給融資額の増額等一段と強化されたい。
- ⑤学校用地の取得に当っては国会、都議会に働きかけ建設の促進をはかられたい。
- ⑥区営プールの増設に当っては、都立公園の活用をはかられたい。
- ⑦緑化事業に対する区民の認識はまだ低い。PR等を充実し緑化に努力されたい。

# 社会党

賛成

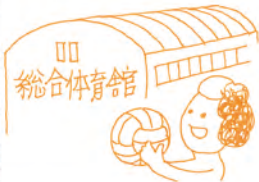
次の諸点について要望する。

①特別区民税の収入歩合を低く見積っているが、徴収に当っては収入歩合のアップをはかられたい。また高額滞納者については十分対策を講じ、税負担の公平を

## 49年度予算に対する各党の討論



(予算特別委員会)



はかられたい。②老人、身障者の施設利用については、使用料の免除等配慮されたい。③同対策事業の執行に当っては人権尊重、差別廃止の見地から一段と努力し、特に子供会、青年団等への活動援助を十分配慮されたい。④応急小口資金の貸付限度額の増額をはかられたい。⑤



# 共産党

賛成

当予算は、区長の公約した生活環境の整備、社会福祉の充実等区民本位に編成されたものと評価する。

①一般区民、議会代表者等による公正、

# 民社党

賛成

次の諸点を要望する。

①区民税の納入に当っては、納税者の利便をはかるよう対処されたい。②区の電算機を使用して区内の商工業者の給与、統計業務が算出できよう利用方法を検討されたい。③老人クラブの助成に当っては、一律分と人頭割を導入するよう助成方法を検討された



民主的な審議会を設け、補助金等の支出基準の設定をはかられたい。②同和事業の推進に当っては、不合理、不明朗な行政のなきよう法律、条例に基づく行財政の管理、運営をはかられたい。③荒川河川敷ゴルフ場の運営は、条例を制定し管理運営に当ることと区民のためにゴルフ場を解放するよう努力されたい。④消費者センター設置に当っては設置場所を十分考慮されたい。⑤議会会議用食糧費および区長、議長の実費を節約または返上し、その予算を弱者のための施策にまわされたい。⑥区長は、ガラス張りの区政推進に徹するよう一段と努力されたい。



特別委員会名簿

(昭和49年 3月29日設置)

Table with 4 columns: 委員会名, 委員名, (◎委員長), (○副委員長). Rows include: ガケ川対策特別委員会, 同和対策特別委員会, 消費者生活対策特別委員会, 総合体育館建設特別委員会.

区民の請願陳情

採択されたもの

- 非核三原則の立法化要請
○区民センター建設
○労働条件の改善及び公共料金の凍結要請
○正月2日・3日並びに祝日の郵便配達廃止要請
○青年館増築に伴う第九出張所増併設
○区立図書館の増設促進とサービ改善(5項(1))
○千住地区児童館建設
○青井町地域保育園増設
○保育所設置促進
○特別保育のための正規保母等の増員(2・3項)
○児童保育施設設置
○学区道認定(4件)
○梅島一丁目6、7、青井一丁目186、2先、西綾瀬三丁目36先
○水害対策(2件)
○宮地マンション建設に伴う諸公害等の解決
○弘道小学校プール改築
○騒音防止設備設置
○分校設置(2件)
○校舎増築等
○青年館増築促進と管理・運営(1・2項)
○東武バス路線延長、増発要請
○大鷲神社、大鷲神社北千住、五反野駅)

不採択となったもの

- 労働条件改善等(1項)
○綾瀬マンション建設に伴う区道拡幅等(2項)
○モーター建設反対
○青年館増築促進と管理・運営(4項)
○第6ブロック区民センター建設
○第七出張所の建物買収
○労働条件改善及びその他の施設等(3項)
○地下鉄千代田線の公害解消(4項)
○千住大橋改築工事
○高齢者就業事業の実施
○集会所建設
○障害児・者の教育と生活
○特別保育のための正規保母等の増員(1・4項)
○特殊学級増設
○児童保育施設(3件)
○学区道認定(2項)
○水洗便所実現
○下水道設置等
○道路拡幅
○U字溝蓋かけ
○側溝新設
○排水溝設置
○防護柵設置
○区道復元及び整備
○水道工事後の道路修復等
○児童公園設置
○失対労働者賃金値上げ要請等
○失対労働者に対する年度末手当支給
○保木間一丁目)

議員の死亡

- 竹内コーボ 竹の塚コーボ建設反対、マンション建設反対(本文前段)
○原二丁目14
○マンション五反野建設反対
○北千住マンション建設反対
○ストークマンション建設反対
○サウナ風呂建設反対(千住2-62)
○心身障害児教育の充実
○青年館増築促進と管理・運営(3項)
○国道4号線千住地域の拡幅及び付帯工事要請
○東武バス運行時間延長と増車
○旧水戸街道交通規制
○日立亀有工場跡地利用(4件)
○日立亀有工場跡地対策
○牛田堀土揚敷占用地の払い下げ促進

次の議会は 6月に開かれます

あとかぎ

この一年間区議会の活動状況を区民の皆様にとり易くお伝えしようと努力してきました。お気付の点その他ご意見がありましたら区議会事務局までお知らせ下さい。
次回から新編集委員に引き継ぎをしますが、今後ともご愛読下さい。
委員長 佐々木弘吉 副委員長 岡安孝明、浅見喜一郎 委員 白石正輝、渡辺修次、藤木二幸。